

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公開番号】特開2013-195181(P2013-195181A)

【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2012-61529(P2012-61529)

【国際特許分類】

G 01 S 13/86 (2006.01)

G 01 S 7/40 (2006.01)

H 04 B 17/00 (2015.01)

【F I】

G 01 S 13/86

G 01 S 7/40 Z

H 04 B 17/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月27日(2015.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーダー信号として使用可能な周波数帯域で無線通信を行う無線装置であって、  
切替指示に基づいて、通信信号又はレーダー信号を切替えて送受信する送受信部と、  
無線通信の切断を検出する検出部と、  
前記切断が検出されると、レーダー信号への切替指示を前記送受信部に出力する切替部  
と、

データを蓄積する蓄積部とを備え、

前記送受信部が、前記レーダー信号への切替指示が入力されると、レーダー信号を特定時間送信し、反射波を受信して、当該反射波に関するデータを前記蓄積部に蓄積することを特徴とする無線装置。

【請求項2】

前記検出部は、前記送受信部からの同期信号が一定時間入力されなかった場合に無線通信の切断を検出することを特徴とする、請求項1記載の無線装置。

【請求項3】

無線通信の運用開始時に測定した受信信号の電界強度データを記憶する電界強度データ記憶部と、

前記送受信部で測定された通信信号の受信電界強度が、前記電界強度データ記憶部に記憶された前記電界強度データに対して一定割合または特定値低下した場合に、前記検出部に電界強度判定信号を出力する受信電界強度判定部とを備え、

前記検出部は前記電界強度判定信号を受信すると前記無線通信の切断を検出する処理を行ふことを特徴とする、請求項1または請求項2に記載の無線装置。

【請求項4】

前記検出部は、前記電界強度信号を受信すると、その受信時刻または受信回数と、無線通信が切断された時刻とを前記蓄積部に蓄積することを特徴とする、請求項3記載の無線装置。

**【請求項 5】**

前記送受信部は 2 次元指向性可変アンテナを備えるとともに、

無線通信の運用開始時の 2 次元のレーダー受信データを記憶するレーダーデータ蓄積部と、

前記検出部によって前記無線通信の切断が検出されると、切断後の 2 次元のレーザー受信データを取得して、前記運用開始時の 2 次元のレーダー受信データとを比較して差分を算出する判定部とを備えたことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の無線装置。